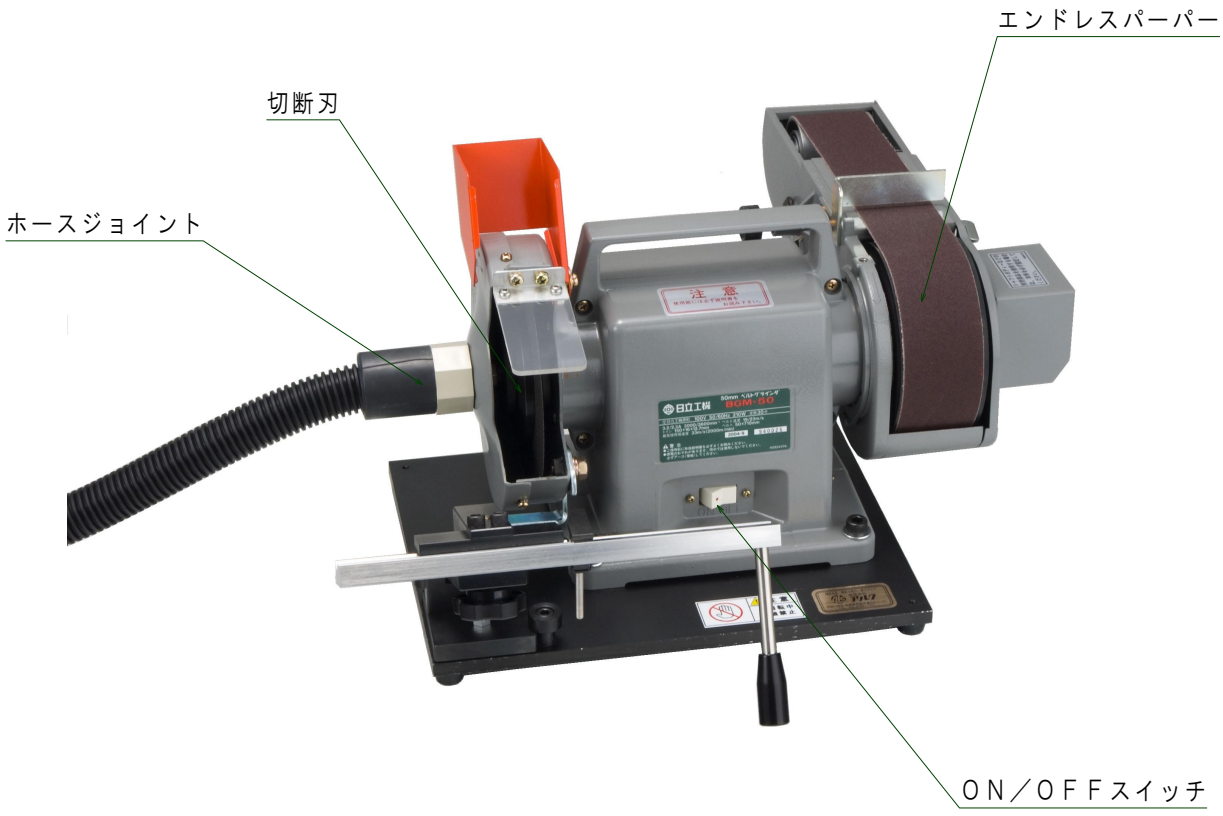
アルク

シャフト切断機

ＡＣＪ３００

取扱説明書

このたびはシャフト切断機ACJ300をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



各部名称参照図

１　　準備前の確認

開封後、下記の付属品が揃っているか確認してください。

１　本体・・・・・・・・・・・・・・・・１

２　本説明書・・・・・・・・・・・・・・１

３　日立ベルトグラインダ取扱説明書・・１

４　シャフト切断治具・・・・・・・・・１

５　スペアー切断砥石・・・・・・・・・３

６　５．０ミリレンチ・・・・・・・・・１

６　集塵ホースジョイント・・・・・・・１

７　固定ボルト（Ｍ６＊２０）・・・・・２

２　　作業前の準備

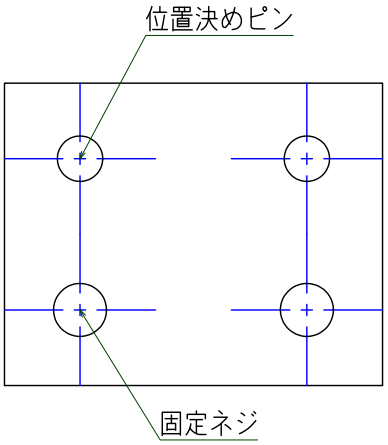
①　すえ付け準備・・・

本体は、安定した作業台上でご使用ください。

②　治具取り付け方法・・・

アルクの治具セッティングはノックピンの位置決め方式になっております。

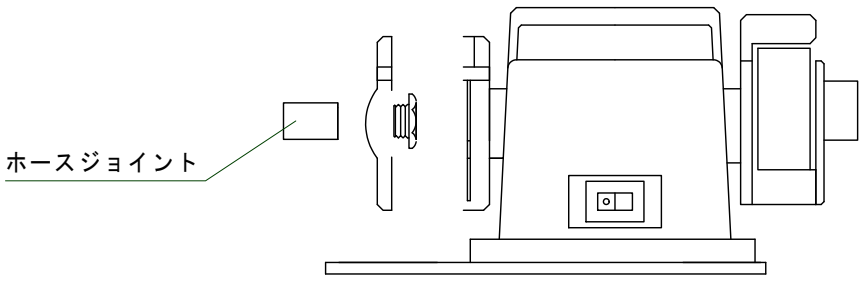
（図１）参照の上、治具が２本の位置決めピンにはまり込む様に乗せ、２本の固定ネジで締め付けます。



（図　１）

③　集塵口の取り付け・・・

付属集塵ホース取付口を（図２）参照の上、本体左カバー面に取り付けます。



（図2）

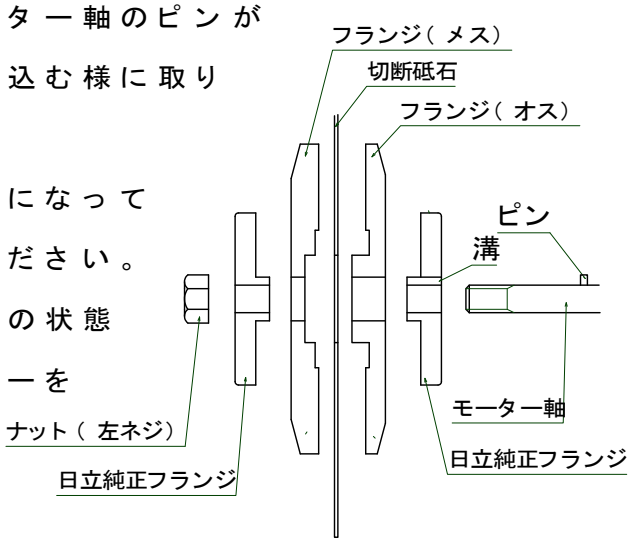
④　砥石の取り付け・・・

砥石の取り付け作業は電源を切り、コンセントを抜き、完全に回転が停止した状態で行ってください。

グラインダーカバーの３本のビスを緩めカバーを取り外したのち、フランジ及び切断砥石を（図３）参照の上、モーター軸のピンがフランジの溝に、はまり込む様に取り付けてください。

締め付けナットは左ネジになっておりますので注意してください。

グラインダーカバーを元の状態に戻し３本のビスでカバーを固定してください。



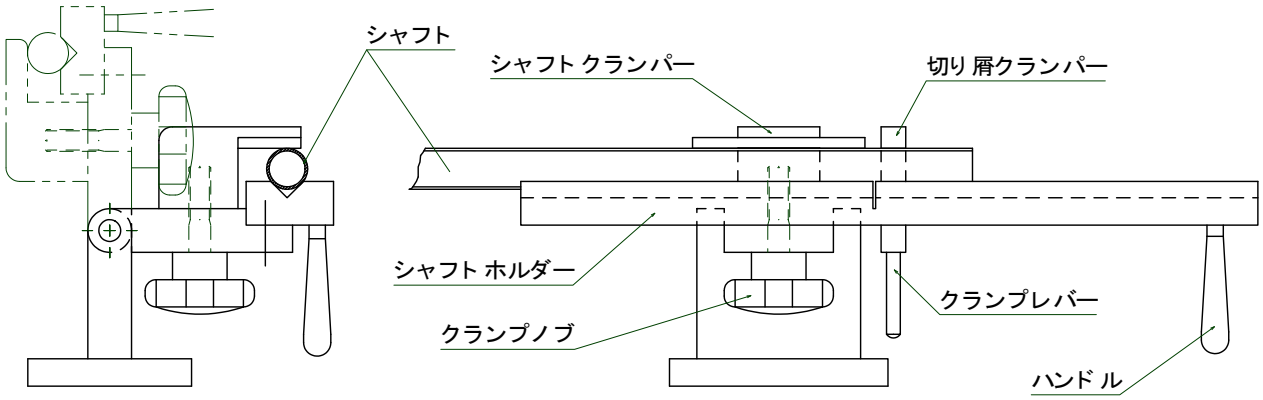
（図　３）

３　基本操作編

①　シャフト切断

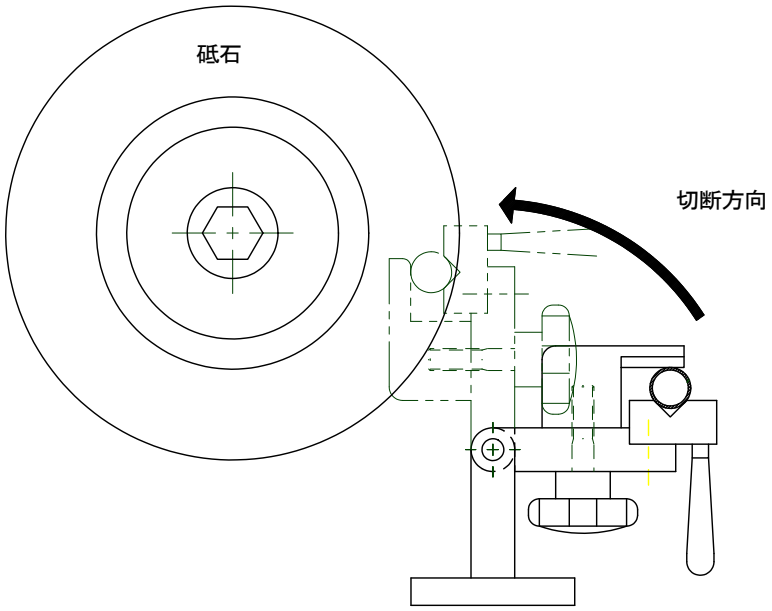
シャフト端部を任意の目盛りに合わせシャフトクランパーと切り屑クランパーで（図４）参照の上、セットします。

シャフトのクランプはクランプノブで調節し、しっかりとシャフトホルダーに固定してください。



（図　４）

電源を入れ回転が安定した後、ハンドルとシャフトホルダー左端部を指先で持ち、（図５）を参考に切断します。



（図　５）

警告

シャフトの切断初めは荷重が少し掛かります・・優しく砥石に接触させてください。切断が終われば荷重が掛からなくなるので必要以上は切断しないでください。ホルダーまで切断しない様に注意してください。

尚、詳しい説明は別紙の（砥石使用上のご注意）をご覧ください。

切断が終了すればただちに、電源をＯＦＦにしてください。

アルクの切断機は安全に作業出来るよう設計されていますが

シャフトの取り付け・取り外しには十分に注意してください。

有限会社
アルク
〒661−0976
兵庫県尼崎市潮江４丁目１−１３
TEL　(06) 6499−7951
FAX　(06) 6499−7953
mail：golf@t-alc.com